GARDENCITYNEWS
自然と人間が共生できるまちづくり

ガーデンシティふかや推進室［ふかや緑の王国・深谷市櫛引24－2（花植木流通センター隣）］☎551－5551

花を愛し、人を愛し、地域を愛するまちづくり!!

学校花はなプラン紹介　ふかや学校花はなプラン ～地域で子どもを育てる～

学校花はなプランとは、学校だけで子どもの教育をするのではなく、地域で将来の日本を担う子どもを育てる環境を取り戻すため、子ども・学校・PTA・地域が、一緒になって花壇作りを行う活動です。

市内小・中学校、幼稚園の皆さんのご協力で、花壇づくりが行われています。

▲深谷小学校

▲藤沢幼稚園

ガーデニング教室参加者募集!

申し込み　9月14日㈬午前8時30分から電話でふかや緑の王国へ（1回の申し込みで2人まで）

【秋のバスケットアレンジメント教室】

プリザーブドフラワーやドライフラワーなどを使って、天然素材のかごに秋を感じるアレンジをしてみませんか。

とき　10月5日㈬午前10時～正午
定員　先着12人
参加料　2,500円
講師　善本由紀氏（㈱日比谷花壇）

▲作品イメージ

【多肉植物の寄せ植え教室】

さまざまな色、形のかわいらしい多肉植物を使って、寄せ植えを作りましょう♪

とき　10月26日㈬午前10時～正午
定員　先着12人
参加料　2,500円
講師　グリーンアドバイザーラ・パンセ

▲作品イメージ

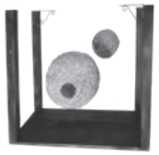
ふかや緑の王国からのお知らせ!

申し込み　各応募締切日までにふかや緑の王国へ郵送または直接提出

第14回バードハウスコンテスト2022作品募集中!

遊び心を大切にし、鳥の視点で都市の環境を考えたコンテストです。

応募締切　9月30日㈮必着
※最優秀賞（クオカード1万円分）をはじめ、優秀賞（同5千円分）、特別賞（同2千円分）あり


▲バードハウスコンテスト第13回人間審査の部最優秀賞

第13回ふかや緑の王国写真コンテスト作品募集中!

テーマ『ふかや緑の王国の魅力』
応募締切　令和5年1月6日㈮必着

第12回写真コンテストの受賞作品▲▶

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、中止になる場合があります。　※体験および教室では各自でマスクを準備し感染予防対策をしてください。　※熱中症対策として水分補給のため各自でペットボトルや水筒などを用意してください。

『ガーデンシティふかや』『ふかや緑の王国』ホームページのほか、ツイッター（@garden5551）、『ふかや緑の王国』フェイスブックもご覧ください。

障害福祉　申請が必要な 手当・医療費支給

次の手当などを受けるには受給申請が必要です。詳しくはお問い合わせください。

問障害福祉課（☎571－1011　FAX574－6667）

	特別障害者手当	障害児福祉手当	在宅重度心身障害者手当
対象	20歳以上で、重度の障害により常時特別な介護を要するかた（3カ月以上の入院中のかたは対象外）	20歳未満で、身体障害者手帳1、2級の一部のかた、療育手帳Ⓐ相当のかた（障害を事由とする年金を受給しているかたは対象外）	65歳未満で、身体障害者手帳1、2級・療育手帳Ⓐ、A・精神手帳1級に認定されたかた
金額	月額27,300円	月額14,850円	月額5,000円
備考	認定には医師による診断書の提出が必要です。所得に応じて支給制限があります。また、施設に入所中のかたは対象外です。		所得に応じて支給制限があります。また、施設に入所中のかたは対象外です。

	重度心身障害者医療費支給
対象	市内に住所を有していて、医療保険に加入しており、次の①～④のいずれかに該当するかた ①身体障害者手帳1～3級のかた　②療育手帳Ⓐ、A、Bのかた　③精神障害者保健福祉手帳1級のかた（ただし、精神病床への入院は除く）　④65歳以上で、後期高齢者医療制度の障害認定を受けたかた（条件あり） ※所得制限により①～④のいずれかの条件に該当していても助成対象とならないかたもいます。また、65歳以上で初めて手帳を取得したかたは①～④に該当していても対象外になります。
助成範囲	医療保険の適用となる医療費（一部負担金） ※高額療養費、附加給付金などが給付されている場合、相当額を控除した金額が支給の対象となります。自由診療（保険適用外）の負担金は支給の対象となりませんのでご注意ください。
所得審査	平成31年1月1日以降、所得制限が導入されました。令和4年10月以降すべての受給者が対象となります。対象者には9月下旬に所得審査結果などを送付します。

畠山重忠を知る

武蔵武士の鑑
畠山重忠

重忠の最期①

鎌倉幕府に13人の合議制ができて間もなく、多くの武士から反感や嫉妬を受けていた梶原景時は幕府を追われ、正治2年（1200年）には安達盛長と三浦義澄が病死し、わずか1年ほどで13人のうち3人が脱落します。さらに、建仁3年（1203年）には、主導権をめぐって北条時政により比企能員が討たれ、比企氏は滅亡しました（比企の乱）。畠山重忠は、景時と能員の失脚に積極的に関与していますが、後にまさか、舅である時政の矛先が自分に向けられるとは思っていなかったでしょう。

比企の乱後、時政は武蔵国への関与を強め、重忠との間に摩擦が生じます。さらに、時政と牧の方の女婿で武蔵守だった平賀朝雅と、重忠の嫡子重保も口論により対立しました。千葉氏の仲裁で一度は収まりましたが、時政と牧の方は重忠の排除をもくろみ、謀反をでっち上げます。北条義時は重忠の謀反を信じず、追討に反対しますが、父の命令には逆らえず、やむを得ず重忠を討つことになりました。

まず、時政は重忠に代わって秩父氏の族長になることを望んでいた重忠の従兄弟である稲毛重成を味方に誘い、一族内の権力争いを利用しました。重成は『鎌倉で凶変あり』と重忠をおびき出します。謀反人を誅すべく重忠に先行した重保は、自分が謀反人とされていることに気付き奮戦しますが、元久2年（1205年）6月22日早朝、三浦義村の郎従に討たれてしまいました。三浦氏はかつて三浦氏の長老、義明が重忠に討たれた恨みをもち続けていたと思われ、重忠追討にあたって積極的に行動していました。恨みや憎しみは遺恨となってなかなか消えないことを、現代の私たちは肝に銘じなければなりません。